



京浜港湾事務所

工事名 令和2年度 川崎港臨港道路東扇島水江町線  
東扇島アプローチ部橋梁下部工事

工期 令和2年8月13日 ～ 令和4年3月22日

施工会社 東洋建設株式会社 横浜支店

工事内容 東扇島地区の既設道路と整備中の橋梁をつなぐ、東扇島アプローチ部橋梁下部工(基礎杭・橋脚・橋台・擁壁)を施工します。

●本工事の施工記録



既製杭工  
令和3年3月



仮設工(鋼矢板圧入)  
令和3年4月



掘削工  
令和3年5月

●進捗状況・お知らせ

橋脚の基礎となる杭打ちを行い、無事にすべての杭を打ち込むことができました。  
現在は掘削を行っており、躯体構築に向けて施工を進めています。



川崎港東扇島～水江町地区 臨港道路整備事業

▽川崎港 臨港道路 位置図



▽工程表

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
測量・調査・設計(施工検討含む)															
用地取得調整・工作物移設															
関係者調整等(近接施工・上部工施工)															
施工															

▽施工位置図(完成イメージ)



## 施工状況

準備工

支障物  
撤去工

基礎工

仮設工

掘削

構造物  
構築土工埋  
戻し

## RC橋脚工－既製杭工

- ・杭打ちでは、中掘り工法という騒音・振動があまり発生しない工法で施工します。
- ・杭はコンクリートで作られています。約10mの杭を溶接で5本つなぎ、地中約50m程度の深さまで打ち込みます。
- ・この基礎杭が道路、車両を支えます。SP18、19橋脚では合計78本の杭を打ち込みました。



一番長い杭で  
12mあるよ！

【写真①】杭打ち込み状況



【写真②】杭材料



2人がかりで杭を  
つなぐんだね！

【写真③】溶接状況

## 仮設工－土留・仮締切工

- ・杭打ち込みが終わったら、掘削を始める前に鋼矢板を圧入し、土砂崩壊を防ぐ壁を作ります。
- ・壁を作った後は、掘削で一定の深さまで掘り下げ、その壁が土圧を受けて倒れてこないように押さえつける役割をもつ山留を設置していきます。

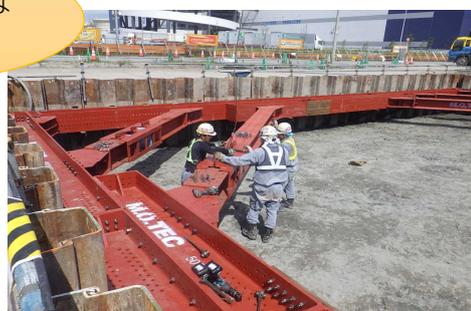
## 掘削工

- ・土留めが終わったら、本格的に躯体を造る深さまで掘削します。この工事では、地表面から約5m掘り下げます。家屋だと2階建てくらいの高さになるので、墜落・転落がないように安全作業で施工を進めます。



掘削状況  
鋼矢板が壁となり、土砂が崩壊することなく安全に掘削できます。

これだけ押さえれば  
安心だね！



山留設置状況  
壁を押さえつけて倒れないようにします。